

e-mail でレポートを提出する場合の数学記号表現について

栗野 俊一

2003年11月14日 (Ver 0.01)

1 はじめに

この演習では、結果を e-mail で提出して頂いています。

数学の科目なので、当然のことながら、回答中に数学の記号が多く現れますが、e-mail でそれらを直接表現するのは、困難だと思われます。

そこで、 $\text{T}_{\text{E}}\text{X}$ を利用することをお願いしているわけですが、 $\text{T}_{\text{E}}\text{X}$ が面倒な方の一応¹、簡便な表現について、のべておきます。

2 数学と $\text{T}_{\text{E}}\text{X}$ と Text の対応表

2.1 記号など

項目	数学	$\text{T}_{\text{E}}\text{X}$	text
冪乗	x^2	<code>x^2</code>	同左
添字	a_1	<code>a_1</code>	同左
平方根	\sqrt{x}	<code>\sqrt{x}</code>	(x)
分数	$\frac{a}{b}$	<code>\frac{a}{b}</code>	(a)/(b)
ギリシャ文字	α, β, ϕ	<code>\alpha, \beta, \phi</code>	, ,
要素	$x \in A, A \ni x$	<code>x \in A, A \ni x</code>	同左
包含	$S \subset R, R \supset S$	<code>S \subset R, R \supset S</code>	同左
束縛	$\forall x \in R, \exists x \in R$	<code>\forall x \in R, \exists x \in R</code>	R の全ての x に対して ... R にある x が存在して..

2.2 構造を持つ場合

¹とにかく、誤りをさけるためにも、是非 $\text{T}_{\text{E}}\text{X}$ で、お願いします。

項目	数学	TEX	text
ベクトル	$v = \begin{pmatrix} a \\ b \\ c \end{pmatrix}$	<pre>v=\left(\begin{array}{r} a \\ b \\ c \end{array} \right)</pre>	<p>v=(a b c) とか、 a v=(b) c など。</p>
行列	$A = \begin{pmatrix} a & b & c \\ d & e & f \\ g & h & i \end{pmatrix}$	<pre>v=\left(\begin{array}{rrr} a & b & c \\ d & e & f \\ g & h & i \end{array} \right)</pre>	<p>A=(a b c) (d e f) (g h i) とか、 a b c A=(d e f) g h i など。</p>
総和	$\sum_{i=1}^n a_i$	<pre>\sum_{i=1}^n a_i</pre>	<p>a_1 + a_2 + .. + a_n</p>